

かけがわの森から

掛川市森林組合通信



2023年秋号 Vol.65



静岡県グリーンバンクは、
緑の応援団として森を豊かにする活動を推進。
私たちの森林整備や木材活用の取り組みを、
学校の授業、図書館での啓発事業に
活用・展開いただいています。

静岡県の森づくりを、
小学校の授業に。

榛村航一 組合長の 元気もりもり(森・森)通信 33

「花粉症の対策に政府が本腰

組合員の皆さまの中に、花粉症の方はおられませんか。私はまだ発症していませんが、私の長女は毎年春になると花粉症に悩まされています。そうした中、政府は「花粉症に関する関係閣僚会議」を本年5月に設置し、花粉症という社会問題に対して実態調査から始め、今後10年を目標に解決を目指す旨を発表しました。

我が国の森林面積は国土の約70%にあたる2,510万haを誇り、そのうちの人工林は1,020万ha、そのうち444万haがスギ人工林です。植えてから20年程度まで、スギは花粉をほとんど発生させないことから、これらを除くと花粉発生源となるスギ人工林は431万haと予測されています。

花粉症は長い間実効的な対策が行われず、多くの国民を悩ませ続けて大きな社会問題となつていきます。政府はこの問題に対応し、将来を見据えた取り組みを着実に実行するため「花粉症対策の3本柱」①発生源対策 ②飛散対策 ③発症・曝露対策を立てました。

この3本柱のうち ①発生源対策 は、各地の森林組合が中心になって取り組まないとならないでしょう。具体的には、戦時中に荒廃した森林を国土保全や戦後の旺盛な木材需要に応えるべく造成したスギ人工林が、花粉発生源のひとつであるため、スギ人工林の伐採・植替え等の加速化を進め、10年後に花粉発生源のスギ人工林を約20%減少させることを目指す、としています。伐採を進めるために重要なのが、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、ということになります。

このような方針を政府が発したわけですから、今後関係省庁(林野庁、農林水産省、厚生労働省等)より具体的な施策が示されるでしょう。当組合はアンテナを高くし、関係省庁の情報を漏れなく集め、花粉症対策の関連施策に携わることが組合員サービスの向上につながるチャンスと捉え、取り組んでいきたいと思えます。



「これいい!」 購買担当「リエさん」の オススメGOODS!!



薪(ストーブ用)約1m³(長さ約40cm、直径約10~20cm)

- 針葉樹 (スギ・ヒノキ混合) **¥14,300(税込)**
- 広葉樹 (シイ・カシ・サクラ・ナラなどの混合) **¥19,800(税込)**



キャンプ・焚き火用の小分けの薪も取り扱っております。
ご注文・問い合わせの際は組合事務所までお電話ください。

針葉樹・広葉樹を同時に
ご購入いただくと
広葉樹が値引価格**¥17,600**に!
オトクなキャンペーン中です!



組合員さまへのお願い

相続等で所有山林に異動が生じた際は
森林組合へご一報ください。



KAKEGAWA
Forest Owner's Cooperative

発行元

掛川市森林組合

〒436-0335 静岡県掛川市大和田320-1

TEL.0537-25-2111 FAX.0537-25-2113

<https://www.kakemori.jp>



かけ森インタビュー 14 「緑の応援団」として、より多くの人に静岡県の森づくりを伝えたい。

公益財団法人静岡県グリーンバンクの長谷川剛司常務のお話を通して、森の応援団であるグリーンバンクと、森づくりの現場を持つ当組合が、良い関係を築きつつ、新たな価値を創造していることを最認識しました。

静岡県グリーンバンクさんとここ数年、様々な仕事を一緒にさせていただいています。長谷川：私たちは、県民の皆様からいただく「緑の募金」を資金として、県内の森林整備と緑化推進という2つの事業を行っています。私は森林整備に携わり、森を豊かにすること、伐った木を活用することなどについての啓発活動を企画・応援しています。掛川市森林組合とは2021年の動画制作からつながりがより太くなったと思っています。

動画「森林プロフェッショナルの1日」(※1)ですね。長谷川：動画制作のきっかけの一つに、組合主催のE・MTBツアーの映像(※2)の素晴らしさがありました。コロナ化で直接的な啓発活動ができなかった当時、こういう映像なら森林で働く方々の姿を魅力的に伝えられると。出演でもご協

力いただき良いものができました。また、県内の林業をテーマにもう2作を制作し、今年3部作として完成しました。現在は、「図書館で読書プロジェクト」という事業の準備が進んでいますね。長谷川：この事業は、図書館を「言葉の森」と見立てて、秋の読書週間に合わせて本を借りた方に県産材の割箸をお配りするという新しい形の普及啓発活動です。2021年秋、プロジェクトの試行に掛川市がご協力くださいました。窓口をしてくださった掛川市森林組合が同年2月に本棚を寄贈するなど、図書館とのパイプが既にできていたこ



チェーンソーなどに興味津々な児童たち

ともスムーズに進められた一因でした。おかげ様で好評で、3年目になる今年は、県内の希望自治体で7万セットの割箸が配布されます。多くの方に森づくりの意義を伝え、県産材を手にとってもらおうと価値は極めて高いと思っています。当組合の取り組みが、手がかりや足がかりになり、新たな事業へつながったことを、大変光栄に思います。最後に、これからの展望をお聞かせいただけますか？

育てたいと思っています。林業に従事するプロと、インタープリターで構成される授業づくりでは、伊達さんにもご協力をいただき、子どもたちからの質問に丁寧に対応してもらっています。伊達：自分自身、森林授業で子どもたちに伝える経験が、職場での新人育成における、伝える力の向上につながっています。長谷川：引き続き森林組合さんのお力を、お借りしながら、より多くの人に静岡県の森づくりを知ってもらいたいです。これからもよろしくお願ひします。



掛川城大手門にて木造談議する2人

コラム・美林掛川へ インボイス制度開始に伴う 当組合の対応について (2023年10月) 総務経理課

インボイス制度は、適格請求書(インボイス)と呼ばれる一定の要件を満たす請求書のやりとりを通じ、取引における正確な適用税率や消費税額を把握するための制度とされています。2023年10月より運用が始まります。(制度の詳細は国税庁のホームページをご覧ください。)

ここでは制度が開始されるに当たり、組合員さんや取引業者さんとの対応について、主な部分を2点お知らせします。

① 組合員(森林所有者)さんの山で森林 施業を行う際の、丸太の取り扱い

間伐や皆伐等を行った際の現場から発生した丸太について、比較的良質な木材は「委託販売方式」で処理し、市場等に出荷して取り扱いますが、今後は「買取販売方式」で取り扱いをさせていただきます。森林施業を提案させていただきます。森林施業を提案させていただきます。森林施業を提案させていただきます。

「木材売買契約書」を取り交わし、発生する木材の買取り手続きをしたうえで販売します。施業終了後には、木材の数量、売上金額の実績に応じて、木材



このインボイス制度は少し複雑な制度です。今後も、顧問税理士や関係機関のご指導を仰ぎながら対応してまいります。皆様のご理解ご協力を宜しくお願いいたします。

売買契約の「変更契約」をさせていただきます。市場との取引、組合員さんとの取引の円滑化の為に上記方式へと変更させていただきますこと、ご了承願ひします。

② 免税事業者など、インボイス発行事業者

以外の方から行った課税仕入の取り扱い インボイス制度の開始後は、インボイス発行事業者以外の方へのお支払いについては、原則として仕入税額控除の適用を受けることができません。ただし、制度開始後6年間は経過措置が設けられているため(左記参照)、当組合では3年間はこの制度の適用を受けます。なので3年間はインボイス登録をされない方(組合員を含む)との取引についても従来のやり方を継続します。4年目以降の対応については、個別にご相談させていただきます。



- 【6年間の経過措置】
- ・2023年10月1日～2026年9月30日：仕入税額相当額の80%を控除可能
- ・2026年10月1日～2029年9月30日：仕入税額相当額の50%を控除可能

トピックス

第62回通常総会が終了 全議案が承認・可決 総務経理課

去る8月25日(金)に第62回通常総会が掛川市生涯学習センターにて開催されました。本会出席48名、書面議決権行使139名の計187名(出席率72.8%)にご出席をいただき、全議案が承認可決されました。また、昨年の通常総会で承認されました「掛川市森林組合・森町森林組合業務提携研究会」のこれまで約1年間の経過および到達点、今後の方向性についての取り組み報告を行いました。



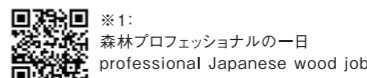
今回は新型コロナウイルスの5類への移行後初めての通常総会開催となりました。元通りとはいきませんが、少しずつ戻る賑わいを感じて嬉しく思いました。無事に事業報告ができましたのも、組合員の皆様をはじめ、関係機関の皆様のおかげと心より御礼申し上げます。また、今期も引き続きご理解とご協力、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

お知らせ

新人職員紹介 流通販売課 後藤 慶悟



8月から掛川市森林組合の流通販売課で働いています。私は幼少期から鳥や植物が好きで、今もジューシマツを飼育しています。自然に興味があり、高校生のとき森林組合で職業体験をさせてもらいました。高校卒業後は車・バイクが好きなのもあり自動車部品を作る会社へ就職しましたが、いつかは森林関係の仕事に就きたいと考えていたのが夢が叶いました。地元である原泉で働ける喜びを噛みしめ、1日でも早く戦力になれるように頑張ります！



※1: 森林プロフェッショナルの1日 professional Japanese wood job



※2: 掛川市森林組合E-MTB ×フォレストツーリズム

公益財団法人静岡県グリーンバンク 常務理事 兼 事業部長 長谷川 剛司さん 聞き手:尾崎・伊達(編集委員)